

軽井沢

一九八四年八月四日

水量は少ないが、ナメの続く沢である。アブに悩まされる沢でもあった。

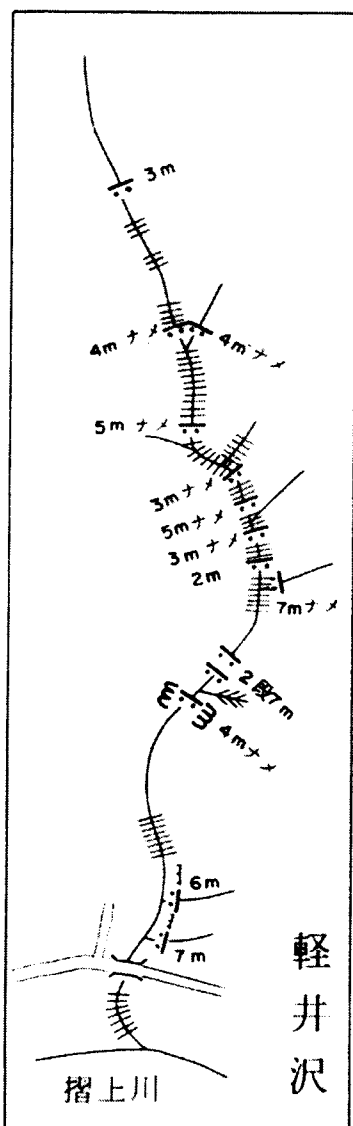
道路より沢に下ると、下はナメである。摺上川との合流点まで続いていた。

一三時五〇分、遡行開始。アブに悩まされながら進むと、四びと七びの二段滝が続いて現われ、その先はナメとナメ滝が連続するようになる。水が豊富であれば、快適な沢登りが楽しめそうな所だ。

やがて二俣。水量の多い右に入る。この先もナメが続く。次の二俣を左に入り、ナメを越えてゆくと、水が

溜れようとするあたりで、小滝が最後の花を添えていた。遡行終了一四時四五分。

〔タイム〕 出合(一三:五〇) ↓ 終了
(一四:四五)



軽井沢